

衆議院政治倫理の確立及び公職選挙法改正に関する特別委員会ニュース

平成 28.3.23 第 190 回国会第 4 号

3 月 23 日（水）、第 4 回の委員会が開かれました。

- 1 ①国会議員の選挙等の執行経費の基準に関する法律及び公職選挙法の一部を改正する法律案（内閣提出第 30 号）
②公職選挙法及び日本国憲法の改正手続に関する法律の一部を改正する法律案（黒岩宇洋君外 3 名提出、第 189 回国会衆法第 41 号）
- ・高市総務大臣、森屋総務大臣政務官及び政府参考人並びに提出者逢坂誠二君（民維ク）、黒岩宇洋君（民維ク）及び後藤祐一君（民維ク）に対し質疑を行い、①について質疑を終局しました。
 - ・平沢勝栄君外 4 名（自民、民維ク、公明、結集）提出の①に対する修正案について、提出者黒岩宇洋君（民維ク）から趣旨説明を聴取しました。
 - ・①及び①に対する修正案に対し、穀田恵二君（共産）が討論を行いました。
 - ・①に対する修正案について採決を行った結果、賛成多数をもって可決されました。
（賛成－自民、民維ク、公明、おおさか、結集 反対－共産）
 - ・①に対する修正部分を除く原案について採決を行った結果、賛成多数をもって可決され、本案は修正議決すべきものと決しました。
（賛成－自民、民維ク、公明、おおさか、結集 反対－共産）

（質疑者及び主な質疑内容）

浦野靖人君（おおさか）

- ・期日前投票所の設置場所と設置数の現状について、衆法提出者に確認したい。
- ・衆法においては、新たに期日前投票所の増設等の措置を講じることとしているが、どの程度の増設を想定しているのか、衆法提出者に確認したい。

鈴木義弘君（結集）

- ・期日前投票所の増設などにより投票機会が拡大されるが、なりすまし投票などの不正投票の対応について、高市総務大臣の見解を伺いたい。
- ・病院や特別養護老人施設等の入所者の代理投票における本人の意思確認の方法について、総務省が見解や通達を出すべきであると考えているが、高市総務大臣の見解を伺いたい。

落合貴之君（民維ク）

- ・通勤通学者の利便性を考えた期日前投票所の開閉時間の弾力的な設定について、森屋総務大臣政務官及び衆法提出者の見解を伺いたい。
- ・衆法における洋上投票の対象の範囲の拡大の目的と内容について、衆法提出者に伺いたい。
- ・衆法における要約筆記者への報酬の支払いの解禁が政府案には入っていないことについて、森屋総務大臣政

務官の見解を伺いたい。

大西健介君（民維ク）

- ・開票作業の効率化、迅速化について、高市総務大臣の見解を伺いたい。
- ・地方議会議員の選挙における選挙運動用ビラの頒布を解禁しないとする理由は見当たらないと考えるが、衆法提出者の見解を伺いたい。
- ・投票率の低さを今の若者のみに特徴的な現象としてとらえることは、投票率の向上に向けた取組を誤らせかねないと考えているが、高市総務大臣の所見を伺いたい。

穀田恵二君（共産）

- ・若い世代では 18 時以降の投票が多く、全投票所が 20 時まで開いていることが重要であるが、過去の衆議院議員総選挙において、閉鎖時間を繰り上げた投票所の割合を総務省に確認したい。
- ・選挙権年齢 18 歳引下げを若者を始めとして有権者への選挙啓発のきっかけにする必要があると考えるが、これまでの参議院議員通常選挙の啓発費と今年度案について、総務省に確認したい。
- ・選挙執行経費の削減が、投票所の減少や閉鎖時間の繰り上げに拍車をかけているが、投票所数や開閉時間が地方自治体により異なることは、国政選挙において投票機会の公平が確保されているとは言えないことについて

て、高市総務大臣の見解を伺いたい。